

これまで未利用・産廃処理されていた地域の森林資源を活用した バイオマス発電を通じて、エネルギーと経済の地域循環を実現

事例概要

事業者

- ・ 真庭バイオマス発電株式会社
(銘建工業株式会社、真庭市、真庭木材事業協同組合など10団体で構成)

地域課題

地域資源の有効活用

事業概要

- ・ 2015年4月から発電出力約1万kWの「真庭バイオマス発電所」を稼働
- ・ 発電した電力は、地元の新電力「真庭バイオエネルギー」をはじめとした新電力にFITで売電しており、真庭バイオエネルギーはその電力を公共施設等に供給
- ・ これまで山林に放置されていた枝葉や、有償処分されていた製材所から出る端材・樹皮といった未利用材を含めて燃料とし、発電に活用することで、林業の活性化とエネルギー・経済の循環を実現

実施状況

(2022年12月現在)

事業化済み (2015年4月開始)

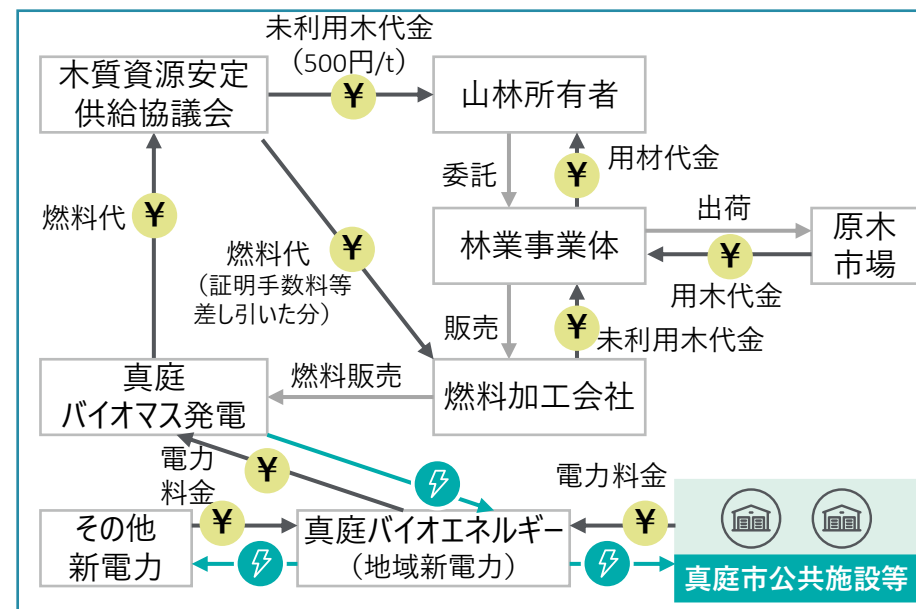
補助事業の利用

- ・ 森林整備加速化・林業再生事業 (農林水産省)
- ・ 産業団地立地補助 (岡山県)

CO2削減効果

—

事業スキーム・体制



間伐材を燃料用チップに破砕



真庭バイオマス発電所